

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公表番号】特表2009-533027(P2009-533027A)
 【公表日】平成21年9月17日(2009.9.17)
 【年通号数】公開・登録公報2009-037
 【出願番号】特願2009-504480(P2009-504480)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 1 2 N 1/21 (2006.01)
 C 1 2 P 21/00 (2006.01)
 C 1 2 N 1/20 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 P 21/00 C
 C 1 2 N 1/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゲノムおよび非ゲノム挿入配列を欠く、大腸菌(E. coli)である非天然細菌。

【請求項2】

そのゲノムが4.41 Mb ~ 1.86 Mbである、請求項1記載の細菌。

【請求項3】

そのゲノムが4.27 Mb ~ 1.86 Mbである、請求項1記載の細菌。

【請求項4】

そのゲノムが4.00 Mb ~ 1.86 Mbである、請求項1記載の細菌。

【請求項5】

そのゲノムが3.71 Mb ~ 1.86 Mbである、請求項1記載の細菌。

【請求項6】

そのゲノムが2.78 Mb ~ 1.86 Mbである、請求項1記載の細菌。

【請求項7】

DH10B、DH5、Inv、Top10、Top10F、JM103、JM105、JM109、MC1061、MC4100、XL1-B
 ue、EC100、およびEC300からなる群より選択される菌株である、請求項1記載の細菌。

【請求項8】

形質転換される能力を有する、請求項1記載の細菌。

【請求項9】

挿入配列ミニサークルを欠く、請求項1記載の細菌。

【請求項10】

発現制御配列に機能的に連結されているポリペプチドをコードする核酸を含むベクターを含む、請求項1記載の細菌。

【請求項11】

ベクターがプラスミドである、請求項10記載の細菌。

【請求項12】

(a) 請求項1記載の細菌を核酸で形質転換して、形質転換された細菌を形成する段階；および(b) 段階(a)の形質転換細菌を、該核酸の複製を可能にする条件下で増殖させる段階を含む、核酸を増やす方法。

【請求項13】

エレクトロポレーションにより細菌が形質転換される、請求項12記載の方法。

【請求項14】

核酸が不安定である、請求項12記載の方法。

【請求項15】

核酸が毒性である、請求項12記載の方法。

【請求項16】

(a) 請求項10記載の細菌を、ポリペプチドの発現を可能にするための適切な栄養条件下でインキュベートする段階；ならびに(b) 該ポリペプチドを任意に単離および精製する段階を含む、ポリペプチドを生成する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

核酸を増やす方法もまた提供する。核酸は毒性であってよい。ゲノムおよび非ゲノム挿入配列を欠く細菌と付加的核酸を、核酸による細菌の形質転換を可能にする条件下でインキュベートしてもよく、これを次に核酸の複製を可能にする条件下で培養してもよい。形質転換は、エレクトロポレーションによって起こしてもよい。核酸は、核酸が増幅される場である細菌を増殖させることによって増幅してもよい。

[請求項101]

ゲノムおよび非ゲノム挿入配列を欠く非天然細菌。

[請求項102]

大腸菌(E. coli)である、請求項101記載の細菌。

[請求項103]

そのゲノムが4.41 Mb未満である、請求項102記載の細菌。

[請求項104]

そのゲノムが4.27 Mb未満である、請求項102記載の細菌。

[請求項105]

そのゲノムが4.00 Mb未満である、請求項102記載の細菌。

[請求項106]

そのゲノムが3.71 Mb未満である、請求項102記載の細菌。

[請求項107]

そのゲノムが2.78 Mb未満である、請求項102記載の細菌。

[請求項108]

そのゲノムが1.86 Mb未満である、請求項102記載の細菌。

[請求項109]

菌株K-12に由来する、請求項102記載の細菌。

[請求項110]

DH10B、DH5、Inv、Top10、Top10F、JM103、JM105、JM109、MC1061、MC4100、XL1-BIue、EC100、EC300等に由来する、請求項109記載の細菌。

[請求項111]

形質転換される能力を有する、請求項101記載の細菌。

[請求項112]

挿入配列ミニサークルを欠く、請求項101記載の細菌。

[請求項113]

付加的核酸をさらに含む、請求項101記載の細菌。

[請求項114]

付加的核酸が挿入配列を欠く、請求項113記載の細菌。

[請求項115]

付加的核酸がポリペプチドをコードする別の核酸を含み、該ポリペプチドコード核酸が発現制御配列に機能的に連結されている、請求項114記載の細菌。

[請求項116]

第1核酸がベクターである、請求項114記載の細菌。

[請求項117]

ベクターがプラスミドである、請求項116記載の細菌。

[請求項118]

(a) 請求項102記載の細菌を付加的核酸で形質転換する段階;(b) 段階(a)の形質転換細菌を、該付加的核酸の複製を可能にする条件下で増殖させる段階を含む、核酸を増やす方法。

[請求項119]

形質転換がエレクトロポレーションによる、請求項118記載の方法。

[請求項120]

核酸が不安定である、請求項118記載の方法。

[請求項121]

核酸が毒性である、請求項118記載の方法。

[請求項122]

(a) 請求項115記載の細菌を、ポリペプチドの発現を可能にするための適切な栄養条件下でインキュベートする段階;ならびに(b) 該ポリペプチドを任意に単離および精製する段階を含む、ポリペプチドを生成する方法。